

公益財団法人宮崎文化振興協会

令和6年度 第1回理事会議事録

1. 日 時 令和6年6月10日(月) 午前9時55分～午前11時57分
2. 場 所 宮崎市宮崎駅東1丁目2番地2 宮崎科学技術館 多目的ホール
3. 出席者 理事現在数 10名 定足数 6名

出席者 西田幸一郎 横山伸子 石本由美子 岩瀬智子
大館真晴 片野坂千鶴子 迫田繁 蓮子浩一
日高智子 横山秀樹

以上10名

(定款第31条第2項の規定による定足数を充足)

監事出席 阪元裕一

以上 1名

同席者

(公財)宮崎文化振興協会事務局次長兼経営戦略課長 東元 慎吾

他 16名

計 28名

4. 議 案 第1号議案 令和5年度事業報告及び決算の承認について
第2号議案 定時評議員会の開催について
第3号議案 評議員欠員に伴う候補者の推薦について
第4号議案 次期評議員候補者の推薦について

5. 報告事項 (1) 特定費用準備資金の積立額について
(2) 職務執行の状況について

6. 議長選任の経過

司会が開会を宣言した。次に定款第33条第3項により理事長 西田幸一郎が議長を務めること及び定款第31条第2項により会が有効に成立していることを告げ、議長の進行により議案の審議に入った。

7. 議事の経過要領及びその結果

議長は、定款第34条第2項に基づき、理事長 西田幸一郎と監事 阪元裕一が議事録署名人になることを告げ、次の4議案及び報告事項、その他について審議した。

(議案)

第1号議案 令和5年度事業報告及び決算の承認について

令和5年度事業報告及び決算の承認について事務局から説明があり、続いて阪元監事から、事業報告の内容は法人の状況を正しく示しており、財務諸表等が協会の財産及び損益の状況について、適正に示していると認める旨の監査報告、及び総評があった。

また半期中間監査を行い、実際に6施設を訪問するとより監査を行いやすくなるのではないかと意見があった。

本議案に関連して次の質疑応答があった。

岩瀬理事：昨年11月に学園木花台小学校2年生がバスを利用して宮崎科学技術館を訪れた際、バスに酔った児童がバスの中で嘔吐しバスが汚れてしまったことがあった。その際、科学技術館の職員がバケツや水を準備し親身に対応してくれてとてもありがたかった。

大館理事：大淀川学習館の事業報告にICTの積極的な活用とあるが、他館も取り組んでいるので、他館についても併せて記入してはどうか。

東元次長：SNSの活用については、各館で力を入れている。全体で活用に対する動きがあり、今後進めていきたい。

片野坂理事：学術・科学技術・文化・芸術振興のための研究事業について、職員が一生懸命研究し成果を挙げ、職員のスキルも上がってくると思うので素晴らしい取り組みだ。

蓮子理事：正味財産増減計算書の自主事業収益が前年度より増加した理由を説明する際、宮崎科学技術館の利用料金収入が増加したためという説明があったが、入館料を値上げしたのか。

東元次長：料金の値上げは行っていない。入館料が有料の入館者数が増えている。

横山専務：コロナが落ち着いて、様々な教室が実施できるようになった。また、企画展にも力を入れており、それを目当てに来た入館者が多くなったことも増加の要因と考える。

日高理事：片野坂理事と同じ意見だ。職員が熱心に研究を行っており、今年度の研究事業も楽しみにしている。息子夫婦がゴールデンウィークに帰省した際、4D-VRを体験するため科学技術館へ昼に訪問したが、既に予約が埋まり体験できなかったようだ。次の日の朝一番に来館して予約をとり、体験することができとても喜んでいて、日本全国の人がインターネットを通して、情報を検索しているのを感じる。協会の職員はやる気に満ちており、理事会でも前向きな意見が多い。また、科学技術館の前を通った際、ソフトクリームの移動販売車があり、賑わっている様子を感じた。皆、前向きに取り組んでいるのを感じる。

横山専務：理事会でいただいた言葉をインストラクターに伝えて、職員の励みにしたい。昨年から、利用のあった学校の生徒で素晴らしい行動があった場合、学校へ連絡するようにしている。今後とも学校と連携をとりながら、子どもが安全に見学して、習得してもらえるようにしたい。

西田理事長：先日、航空教室があり、東京都や沖縄県からの参加者がいた。情報発信は大切だと感じた。

横山理事：宮崎科学技術館の利用者は、県外の利用者も多い。県外の利用者増加に繋がる取り組みは何かあるか。特に鹿児島県の利用者が多い理由は何か。

塩月副館長：宮崎科学技術館は、県内リピーターの増加を中心に組みながらも、県外のお客様に来てもらうこともとても大切だと考えている。但し、鹿児島県からの来館者が増えた理由は分からない。高速道路を利用して来館しやすいというものではないか。

永井館長：生目の杜遊古館には、生目古墳群が見学コースに入っている関西や関東からのツアーの来館者がいる。また、佐土原城は、続日本100名城に入っており、城に上りたい人や城の記念スタンプが欲しい人が訪れている。佐土原城については、地元の人より県外の人の方が詳しい例もある。

二宮館長：大淀川学習館には、昨年、福岡県のスポーツクラブの団体が、別の用件で宮崎市を訪れた際に空き時間に来館した。また、熊本県水俣市からは環境の学習で見学に来た団体や保育園生が来館した。鹿児島県からは、鹿屋市の児童クラブや施設から見学に来ている。

石本理事：利用者に対するアンケートはとっているのか。

横山専務：各館では事業をする際に随時アンケート取っている。また、モニター制度があり、委嘱したモニターに各館を回り意見をもらっている。意見をまとめて会議を開催し、事業や施設の問題に反映できるように体制を整えている。

石本理事：アンケートを取り、意見に対する対応を公表することで、意見を出した人が意見を受け止めて返してくれたと感じると思うので、ホームページや理事会の中でもいいが、意見を集約した資料を配付するといいいのではないか。

横山専務：モニター意見交換会では、意見に対する回答を作成した文書を配付し、説明や意見交換を行っている。今後、理事会でも資料を準備し、配付して説明したいと思う。

迫田理事：コロナの影響が尾を引いている感じや、今後の変化を感じることはあるか。

羽木本館長：市民プラザのホールとギャラリーは1年前から予約を受け付けている。コロナ禍では利用が少なかったため、昨年度の11月まで影響を受けていたが、今はほぼ回復している。

二宮館長：大淀川学習館では、週毎や月毎の動きをみると、動きそのものはコロナ前に近づいていると感じる。逆に入館者数が多い、土曜、日曜、祝祭日の雨の日を見ると、コロナ前とは全く違うように感じ、それが年間の差に繋がっている。但し、年間の動きは近づいている。

永井館長：歴史館では、コロナ禍に行っていた講座の参加者数を50人に制限していたが、現在は、80人や60人を超える申し込みが出て来ており、受講生の安心感ができていると感じる。但し、コロナ前は来館していた、各市町村の公民館活動の受講生が団体で来るケースがない。また、コロナ禍では、修学旅行の訪問先が県内となり、都城エリアや日向・延岡エリアから来館していた。現在もいくつかの学校は引き続き利用の予約が入っており、今後期待する要素はある。

審議の結果、議長が諮ったところ、特段の異議もなく満場一致で承認可決した。

第2号議案 定時評議員会の開催について

定時評議員会を下記のとおり開催するため、定款に基づき本理事会で決議いただきたい旨、事務局から説明があった。

日時 令和6年6月25日(火) 10:00～
場所 宮崎中央公民館 3階小研修室
内容 (1) 令和5年度事業報告について
(2) 令和5年度決算の承認について
(3) 理事の選任について
(4) 監事の選任について

審議の結果、特段の異議もなく、満場一致で可決した。

第3号議案 評議員欠員に伴う候補者の推薦について

西田幸一郎評議員からの辞任届提出に伴う候補者の推薦について事務局から説明と提案があった。このことについて議長が諮ったところ、特段の異議もなく満場一致で承認可決した。

評議員 黒木 貴 (新任)

第4号議案 次期評議員候補者の推薦について

任期満了に伴い、次期評議員候補者の推薦について事務局から説明と提案があった。このことについて議長が諮ったところ、特段の異議もなく満場一致で承認可決した。

(報告事項)

報告事項(1) 特定費用準備資金の積立額について

事務局から特定費用準備資金の積立額について報告があった。

報告事項(2) 職務執行の状況について

事務局から職務執行の状況について報告があった。

(その他)

評議員選定委員会開催について、令和6年6月20日(木)10時から開催を予定していることを説明した。

以上をもって議案の審議等を終了したので、午前11時57分に司会が閉会を宣言し、解散した。

上議決を明確にするため、本議事録を作成する。

なお、以上この議事録が正確であることを証するため、理事長及び出席した監事は次のとおり署名する。

令和6年6月18日

公益財団法人宮崎文化振興協会 令和6年度 第1回理事会

理事長 西田 幸一郎

監事 阪元 裕一